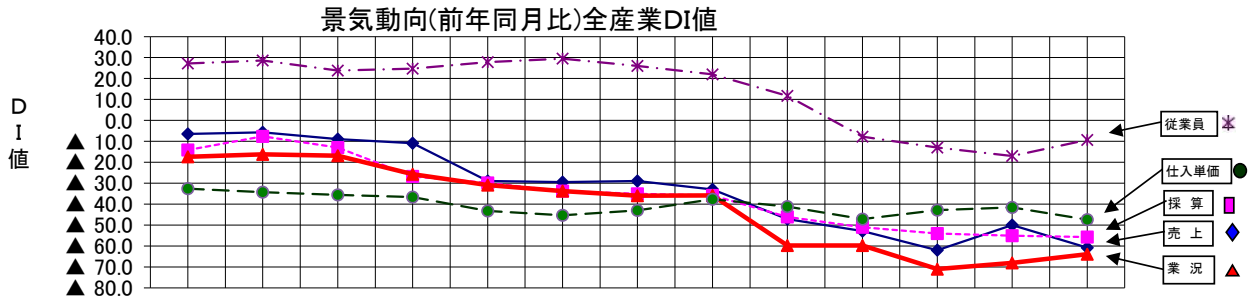


早期景気観測調査 新潟商工会議所管内 7月分

【7月の概要】 本格的回復には程遠く、第2波への警戒感増す。

6月に比べ、業況DIは「業況」と「従業員」で若干改善したが、「売上」「採算」「仕入単価」でマイナス幅が増加。特に「売上」「仕入単価」は底を打ったと思われたものの再び悪化に転じた。先行き見通しDIでは、「業況」と「仕入単価」で若干改善したが、「売上」「採算」「従業員」については、下げ止まらず再び悪化に転じた。

東京での新型コロナウイルスの感染再拡大により、第2波への警戒感が増している。まだまだ本格的な回復には程遠く、明るい兆しが見えず、我慢の経営が求められる。



【全産業平均DI】 ※DI(景況判断指数)=(良い割合)-(悪い割合)

	2019年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	2020年 7月
◆ 売上	▲ 6.5	▲ 5.7	▲ 8.9	▲ 10.9	▲ 28.9	▲ 29.5	▲ 29.0	▲ 33.0	▲ 47.1	▲ 52.9	▲ 62.0	▲ 50.0	▲ 60.8
■ 採算	▲ 14.1	▲ 7.6	▲ 12.9	▲ 26.7	▲ 29.9	▲ 33.7	▲ 35.0	▲ 35.8	▲ 46.1	▲ 51.0	▲ 54.0	▲ 55.0	▲ 55.7
▲ 業況	▲ 17.4	▲ 16.2	▲ 16.8	▲ 25.7	▲ 30.9	▲ 33.7	▲ 36.0	▲ 35.8	▲ 59.8	▲ 59.8	▲ 71.0	▲ 68.0	▲ 63.9
● 仕入単価	▲ 32.6	▲ 34.3	▲ 35.6	▲ 36.6	▲ 43.3	▲ 45.3	▲ 43.0	▲ 37.6	▲ 41.2	▲ 47.1	▲ 42.9	▲ 41.5	▲ 47.4
* 従業員	27.2	28.6	23.8	24.8	27.8	29.5	26.0	22.0	11.8	▲ 7.8	▲ 13.0	▲ 17.0	▲ 9.3

・マイナス幅が減少したDI値：業況4.1ポイント、従業員7.7ポイント

・マイナス幅が増加したDI値：売上10.8ポイント、採算0.7ポイント、仕入単価5.9ポイント

全産業平均DI - 向こう3か月間の先行き見通し

	売上(受注・出荷)	採算	業況	仕入単価	従業員
5月	▲ 54.0	▲ 54.0	▲ 62.0	▲ 2.0	▲ 16.0
6月	▲ 40.0	▲ 45.0	▲ 51.0	▲ 9.0	▲ 10.0
7月	▲ 45.4	▲ 49.5	▲ 48.5	▲ 6.2	▲ 14.4

・見通しが改善したDI値：業況2.5ポイント、仕入単価2.8ポイント

・見通しが悪化したDI値：売上5.4ポイント、採算4.5ポイント、従業員4.4ポイント

【業界から寄せられた主なコメント】

建設業	電気工事	先送りする工事が多数出てきており、再開した時に集中しないか心配している。
	ゼネコン	引渡延期事案が若干ある。第二波対策として第一波の経験を活かし、BCPを準備している。
製造業	製菓	県外出張から戻った時に保険適用でPCR検査をできるように制度化して欲しい。
	菓子	路面店での売上は増加傾向だが、先行きが心配。レジ袋有料化に戸惑っている。
卸売業	紙製品	イベント中止が多く、案内状・冊子等の紙の需要が大きく減少している。
	呉服	大都市でのコロナの影響で、今後の見通しが立たない。秋以降のイベントが開催できるのか不安。
小売業	眼鏡販売	人の移動が活発化したことにより、新型コロナウイルスの第二波が懸念される。
サービス業	運輸	暫くは我慢の経営が求められるが、人材確保の面においてはチャンスでもある。
	飲食	対策をしたうえで営業時間等平常に戻したが、客足鈍く、特に会社関連の飲み会が全く入ってこない。
	タクシー	雇用調整助成金の審査に時間がかかっているようで、入金が遅く、借入金で凌いでいる。